

伊賀市社協 だより

令和2年10月1日発行

No.175

10月号



令和2年度

目標額

12,659,100円

# 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

あなたは一人じゃない。



市民のみなさまへ

Red Feather Community Chest Movement

秋の深まりとともに、今年も赤い羽根共同募金運動の時期がやってまいりました。

昨年は、市民の皆さま方の深いご理解とご協力により、多大なる募金が集まりましたことを厚くお礼申し上げます。寄せられました募金は、社会福祉協議会をはじめ、福祉施設、ボランティア団体等に配分され、伊賀市内の高齢者や障がい者、子どもたちを取り巻く、様々な福祉活動に大きな役割を果たさせていただいております。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う生活上の悩みを抱える方にも寄り添い、事業を展開しております。今年も、10月1日から全国一斉に、赤い羽根共同募金運動が展開されます。だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域社会づくりの実現のため、この運動に多くの方々のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三重県共同募金会伊賀市共同募金委員会 会長 松井 謙二

# おしえて★ その③ 「募金百貨店プロジェクトってなんだぐり？」の巻

## 地域のふくし



ぼく、三重県伊賀市の観光大使、いが☆グリオだぐりよ♪  
伊賀市に住んでいる小学校3年生として、だいすきな伊賀のふくしのこと、もっと知りたいぐりっ★

今月お答えするのは  
法人運営部 総務課の  
豊島 里奈です。  
募金百貨店プロジェクト  
についてご紹介します！



ねえねえ、募金百貨店プロジェクトってなんだぐり？

赤い羽根共同募金の募金方法の1つで、**寄付つき商品を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付すること**で、地域社会に貢献する企業や団体等を募集する取り組みです。  
地域のみなさんはお買い物で社会貢献、お店には社会貢献とあわせて販売促進や新規顧客の開拓、共同募金には財源の確保につながる、みんなが笑顔になれるしくみです。



ナルホド。  
募金百貨店プロジェクトで集まった寄付金は、どこで活用されているぐりか？

集まった寄付金は、市内の居場所づくりのための財源として、**ふれあい・いきいきサロン**や**地域食堂**の立ち上げや、活動継続のための支援に活用されています。



そうなんだぐりね！伊賀市では、どこでお買い物すれば募金につながるぐり？

伊賀市では、現在2つの企業にご協力いただいています。(令和2年8月末現在)  
この寄付つき商品を購入すると、売上げの一部が募金となり、たくさんの笑顔と“ありがとう”につながります。  
募金百貨店にご協力いただける企業・店舗も募集していますので、お気軽にお問い合わせくださいね！



\*株式会社 桔梗屋織居  
「**おかゆ大福**」  
1個売り上げにつき10円を寄付  
(税込130円)



\*島ヶ原温泉 やぶっちゃんの湯  
(一般財団法人 しまがはら郷づくり公社)  
「**オリジナルトートバッグ**」  
1個売り上げにつき20円を寄付  
(税込770円)



★募金百貨店プロジェクトは、誰かが誰かのために一方的に支援するのではなく、誰もが暮らしやすい地域を、伊賀市のみんなで作るための取り組みなんだぐりね♪

ぼくも寄付つき商品を買って赤い羽根共同募金の運動に協力したいぐり！

♡ご寄付ありがとうございます  
**「新型コロナウイルス対策緊急支援募金」**

6月より募集しております、伊賀市社協「新型コロナウイルス対策緊急支援募金」に対し、おかげさまで**161件**の企業や団体、個人のみなさまから、寄付金**496万1,384円**および物品のご寄付を頂戴いたしました(9月4日現在)。心から感謝し御礼申し上げます。さらなる不況の深刻化が予想される中、助けを必要とする方に支援をお届けするために、引き続きご支援のほどよろしくお願ひ致します。

◆寄付者のご紹介(9月4日迄) ◆※掲載許可いただいた方を敬称略・順不同で掲載

生活協同組合コープみえ・結希建設(株) マツザキ・伊賀北ライオンズクラブ・日本中部華僑華人旅行業教會・吉田電機商工(株) (有)時代屋プロジェクト・阿保西部町づくり会・布絵本作成ボランティアグループ『お針子チクチク』有志千代の国・川瀬巨・松本初美・松本新一・小原雅人・中森幸子・天理教上野支部・平田久二・稲森眞文・高田幸代・(株)小川モーターズ・篠田眞由・河野博子・(獨)あやまユートピア・上田賢博・豊森尚文・河口弘信・上小場いきいき向日葵会・辻中静夫・吾郷進・(宗)法音寺上野支院安立寺・ねのびいきいきサロンみずぐるま・山口征雄・森寺いきいきサロン・上野自動車学校・石田正樹・石田律子・遊免みさよ・すこやかクラブ・藤森秀行・福壽勇・劇団いが悪徳バスターズ・岡三証券(株)・葛原穰・ハイツ芭蕉老人クラブ松寿会・山田孝志・四十九町自治会・中森光穂・島地宗治・中治宝・藤岡豊子・伊賀上野ケーブルテレビ(株)・奥馬野深谷いきいきサロン・伊賀電気引込

工事センター・上野電気工事協同組合・いきいきサロン炊村・さくら会・伊賀市民生委員児童委員連合会・上野ハウス(株)・上出ふれあいサロン・成和地区民生委員児童委員協議会・三田地区住民自治協議会農業産業部有志一同・青山区民生委員児童委員協議会・不見上区有志一同・服部一宏・大山地地区民生委員児童委員協議会・阿山地区民生委員児童委員協議会・伊賀ふるさと農業協同組合・上野ガス(株)地域貢献室・上野南部地区民生委員児童委員協議会・上野北部地区民生委員児童委員協議会・久米地区民生委員児童委員協議会・村田裕子・明治安田生命保険(相)・古村靖子・西明寺区・谷口修一・友生区長会・伊賀地区民生委員児童委員協議会・福本英孝・稲森千代子・山本育子・島ヶ原地区民生委員児童委員協議会・山本育子・上野東部地区民生委員児童委員協議会・山田春美・上野西部地区民生委員児童委員協議会・しらさぎ地区民生委員児童委員協議会・城西地区民生委員児童委員協議会・匿名75件

『**当院での膝関節痛・股関節痛の治療**』



伊賀市立上野総合市民病院

整形外科医長 海野 宏至 (うんの ひろし)



高齢化が進む近年において、膝関節痛、股関節痛に悩まされる方がたくさんみえると思います。膝関節痛、股関節痛を生じる疾患は多数ありますが、その中で最も多いものが変形性関節症といわれる疾患です。変形性関節症とは、主に加齢に伴い関節を覆っているクッションである軟骨がすり減ってしまい、骨同士が擦れあうことで痛みなどが起こる病気です。変形性関節症は様々な関節で起こりますが、特に膝関節、股関節に多く生じ、患者数はそれぞれ100万人程度と推計されています。すり減った軟骨を再生することはできませんが、痛みを軽減するために様々な治療法があります。痛みや変形の程度が軽度である場合は、まずは保存治療を行います。鎮痛剤や外用剤、ヒアルロン酸の関節内注射などといった薬物療法が一般的です。また、傷んだ関節への負荷を減らすために、周囲の筋肉を鍛える運動療法も非常に重要です。適切な運動の内容は人によって様々ですが、無理なく毎日継続できる範囲での運動、ストレッチが望ましいです。これらの保存治療を行っても痛みが改善しない場合は人工関節を用いた手術療法を行います。

人工関節置換術は、変形した関節を金属等でできた人工関節に入れ替える手術です。国内で年間に膝関節は8万人、股関節は6万人が手術を受けています。合併症を生じる可能性もありますが、多くの方が痛みがとれて満足した生活が可能となります。当院での人工関節置換術においては工夫した取り組みとして、多角的鎮痛法を用いた、より術後の痛みが少ない手術を目指しています。多角的鎮痛法とは、手術中、手術後に様々な種類の鎮痛剤や神経ブロックを併用して、より効果が高い鎮痛を得る方法です。また、手術後の抜糸にも痛みを伴いますので、抜糸が不要な縫合方法を用いています。さらに、股関節の手術におきましては、前方アプローチという筋肉を切らない方法を可能な方には用いており、術後の痛みの軽減や、合併症の1つである脱臼の危険性が低くなるよう工夫しています。

膝関節痛、股関節痛にお悩みの皆様のお力に少しでもなれるよう思っておりますので、お気軽に当院外来までお越しください。

■伊賀市立上野総合市民病院  
 ☎05995 (24) 1111

みなさまのご協力  
ありがとうございます  
ございます



## 令和元年度 伊賀市共同募金委員会実績額

# 12,215,141円

戸別募金	7,011,373円	職域募金	1,274,895円
街頭募金	448,923円	個人募金	430,116円
学校募金	216,042円	イベント募金	274,817円
法人募金	2,185,100円	その他	373,875円

配分金は、令和2年度事業に充当されます。

## 令和2年度 共同募金配分金助成事業予算【三重県共同募金会 伊賀市共同募金委員会配分】

### 災害見舞金・災害救援支援金給付事業

市内で発生した、天災人災を問わない局地的災害により全焼（全壊）または半焼（半壊）の被災者への見舞金や、地域住民による炊き出し等の支援活動への支援金を給付します。

### 福祉映画会等開催事業

市民への福祉活動の啓発として、福祉映画会を開催します。配布した鑑賞券代は、イベント募金として取り扱います。

### 緊急食料等提供事業

市内居住の低所得者が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合、食料等の現物提供により、世帯の自立生活を支援します。

### 子育てサロン講師派遣事業

音楽療法及び3B体操教室、ベビーマッサージの講師を派遣します。

### 火災警報器取り付け支援事業

重度心身障害者や一人暮らし高齢者世帯等の火災警報器設置状況を調査し、必要に応じて取り付けを支援します。

### 地域福祉団体助成事業

地域福祉に取り組む当事者組織、ボランティア市民活動団体、地域団体等に対し、資機材購入や研修・調査活動等への助成を行います。

全市統一事業  
1,120,000円  
(9.2%)

火災警報器  
取り付け支援事業  
1,375,547円  
(11.3%)

地域福祉団体  
助成事業  
1,950,000円  
(15.9%)

12,215,141円

ふれあい・いきいき  
サロン支援事業  
5,500,000円  
(45%)

### 三重県共同募金会 広域配分

(県下の社会福祉施設・  
団体、災害時の活動  
支援などに配分)  
2,269,594円  
(18.6%)

### ふれあい・いきいきサロン支援事業

身近な地域で、高齢者や障がいのある方、子育て中の親、ボランティア等が協働で企画・運営をし、見守りや閉じこもり、孤立や介護予防を目指す仲間作りの場を支援します。

地域福祉団体助成事業



(子育てサークルつくしんぼ)

ふれあい・いきいきサロン支援事業



(センターランドおしゃべり会)

ひとりひとりのやさしい気持ちで、まちの福祉を支えています。

令和2年度

歳末たすけあい募金配分金事業

# 世代間交流事業 申請受け付けます。

歳末たすけあい募金配分金を活用し、  
年末年始、身近な地域での複数世代  
(2世代以上)の交流事業に助成します!!



- お願い● 団体ごとに新型コロナウイルス感染症予防について以下の点にご留意いただき、実施をお願いいたします。  
①換気の悪い“密”閉空間 ②多数が集まる“密”集場所 ③間近で会話や発声をする“密”接場面

### ●助成対象団体

ふれあい・いきいきサロン、住民自治協議会、自治会、民生委員児童委員協議会、地域サークル等。

### ●助成の対象事業等

概ね令和2年12月1日～令和3年1月末日に

- ① 実施・運営に必要な活動経費の一部助成
- ② 実施・運営に必要な情報提供
- ③ その他、事業実施上で必要と考えられる支援

### ●助成対象

単一世代のみは対象外とし、複数の世代がいることが原則。

### ●助成額

参加者の合計が

- ① 15名以上 20名以下の場合▷上限 5,000円
- ② 21名以上 30名以下の場合▷上限 10,000円
- ③ 31名以上 45名以下の場合▷上限 15,000円
- ④ 46名以上 60名以下の場合▷上限 20,000円
- ⑤ 61名以上 75名以下の場合▷上限 25,000円
- ⑥ 76名以上 100名以下の場合▷上限 30,000円
- ⑦ 101名以上の場合▷上限 35,000円

### ●助成内容

- (1) 講師報償費
- (2) 会場使用料及び機材使用料
- (3) 食材費及び光熱水費
- (4) 行事保険料
- (5) その他、会長が特に必要と認める経費

### ●助成金申請

伊賀市共同募金委員会事務局(社協各地域センター)まで、助成金交付申請書、事業計画書を作成し、事前に提出。交付申請書は、各地域センターで配布または、伊賀市社協ホームページ▷伊賀市社協について▷資料ダウンロードよりダウンロード可。

申請書受付期間▶11月13日(金) 締め切り  
申請回数▶1団体1回まで。

(申請状況により追加募集をする場合あり)

### ●助成金の交付

助成金の交付は、報告書が提出された後、実績に応じてすみやかにいきます。

※その他、詳細は、要項をご確認ください。

### ●申込・問い合わせ先●

三重県共同募金会 伊賀市共同募金委員会 事務局 (伊賀市社協内) ☎21-5866



**共同募金運動「街頭募金」  
中止のお知らせ**

毎年多くの地域のみなさまよりご協力をいただいております街頭での募金活動について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域のみなさまの健康及び安全面等を第一に考慮した結果、中止させていただきますこととなりました。市役所、社協各地域センター窓口などへ募金箱を置かせていただくほか、従来から行っている戸別募金等へもご協力賜りますようお願い申し上げます。

今後、住み慣れた伊賀市で誰もが安心して暮らすことができるように、募金運動にご協力くださいますようお願いいたします。

**伊賀市障がい者スポーツ大会中止のお知らせ**

例年、秋に開催している「伊賀市障がい者スポーツ大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年は開催を中止とさせていただきます。

**健康安全運転講座  
中止のお知らせ**

9月号でご案内した、「健康安全運転講座」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。

**介護有資格者再チャレンジ研修  
(Web研修)参加者募集!**

介護の資格は持っているけれど、「経験がない」、「ブランクがある」と介護の職に就くことに不安がある方や、復帰したけれど、もう一度「介護の基本」を学び直したいとお考えの方に、不安や悩みを解消し、福祉・介護の現場で活躍していただけるよう、介護の知識や技術のスキルアップができるWeb研修を実施します。

【受講方法】 インターネットを利用して、受講動画を視聴し学びます。

【対象】 介護等の資格をお持ちで、現在福祉・介護の仕事をしていない方

◆掲載内容のお詫びと訂正◆

広報8月号 2頁「地域のステキな支え合い活動」において、取材不足のため記事内容に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

★「要石」で地域の活性化と絆づくり

阿保地域には、地震を起こす巨大ナマズを抑えているという要石（かなめいし）にちなんだ銘菓がありました。閉店によりなくなりました。そこで、他の和菓子店からサロンメンバーが製造方法のノウハウを学びました。



「要石」は、1個 170 円で販売

また、製造には厨房の改修が必要になったことから、地元郵便局の協力を得て書き損じハガキの募集や助成金を獲得するなど改修費用を確保し、約2年の年月を経て、念願の要石を作って販売することが実現しました。

さまざまな活動を通じて、高齢者のいきがづくりや認知症予防、地域の活性化、自主財源の確保など、「一石三鳥」ともいえる効果が生まれています。

詳細はホームページ  
をご確認ください



もしくは、介護職として就職または復帰後、概ね1年未満の方

【内容】 講習6科目10時間（受講期間2週間） 介護保険制度の動向、認知症ケア、老化の理解とリスクマネジメントなど

【受講期間】 9月1日～2月26日（金）の間の2週間

【定員】 150名 ※先着順

【参加費】 無料

【申込・問い合わせ先】 三重県社協 三重県福祉人材センター  
059-227-5160

若者の職業的自立のための総合相談窓口

**いが若者サポートステーション**

無料



～15～39歳までの「働きたい悩みを抱えている人とその家族」を支援します～

就職氷河期世代の人も、「サポステ・プラス」(40～49歳)で応援します。

★就職相談と各種講座  
をしています(要予約)★

仕事に  
いける!!

◆自分の潜在能力を把握し、個性を理解する!!

「一般職業適性検査(GATB)」

◆自分に合った応募職種、事業所を決める!!

「履歴書・職務経歴書の書き方、面接練習」  
を実施しています。

無料「パソコン講座」開催

【PC入門・ワード・エクセル・パワーポイント】

●日程/10月15日(木)/19日(月)/  
22日(木)/26日(月)/29日(木)

●時間/10:00～15:15

■住所/伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階  
■☎&Fax/0595-22-0039 ■メール/iga-saposute@npo-en.or.jp  
■開所日/月～金曜日 9:00～17:00 (土・日・祝 年末年始は休み)  
ハローワーク伊賀 出張相談日/10月20日(火) 13:00～16:00



今日からできる **簡単手話講座**

**\*わかりました\***

右手のひらで胸をなでおろす



伊賀市健康福祉部障がい福祉課 ☎22-9657



事前申込  
必要



オンライン  
受講可

# 地域福祉 ネットワーク フォーラム

コロナ禍で、急増した地域課題。  
様々な活動に取り組んできた  
伊賀市だからこそできる、  
支え合いや解決策を考えませんか。

とき

令和2年 **11月3日** 火・祝  
10:00～15:30  
(受付 9:30～)

会場・定員 ※先着順

- ①上野会場 / 伊賀市総合福祉会館(定員50名)
- ②いがまち会場 / いがまち保健福祉センター(定員20名)
- ③青山会場 / 青山福祉センター(定員20名)

※①会場がメイン会場となり、②③会場ではライブ配信をスクリーンに投影して視聴します

◆開会・見守り支援員ガイダンス  
コミュニティビジネス事例紹介 (10:00～10:35)

◆基調講演 I (10:35～12:05)  
演題 / 「With コロナ時代の地域共生社会」  
～第4次地域福祉計画に向けて～  
講師 / 日本福祉大学 副学長 原田 正樹氏



伊賀が  
大好き!!

忍ジャーエールが  
大好き!!



◆基調講演 II (13:30～)  
演題 / 「地域福祉の推進に『保証機能』はなぜ必要か」  
講師 / 同志社大学 教授 永田 祐氏

◆分科会 (14:45～15:30)  
分科会①「保証機能を地域でつくろう！」(アンケート・社協内プロジェクトの取り組み報告)  
分科会②「コロナ禍での地域の支え合い活動の現状」(アンケート報告・事例紹介)

■対象 / 地域福祉に関心のある方どなたでも (会場での受講は、伊賀市在住の方のみ) ■参加費 / 無料

■申込方法 / ①氏名②生年月日③住所④連絡先 (電話・FAX・メールアドレス)⑤受講会場またはオンライン受講希望を、専用フォーム、電話、FAX、社協各地域センター窓口にてお知らせください。

※情報保障が必要な方は、ご連絡ください。

※定員を超えた場合、別会場での受講もしくはインターネット上でのライブ配信による受講となります。

■申込期間 / 10月1日(木) 9:00～10月16日(金)

■受講者へのお願い / ●会場での検温、手指消毒、マスクの着用にご協力ください。●昼食は、各自でお済ませください。  
●新型コロナの状況により、会場での参加を中止し、ライブ配信のみになる場合があります (社協 HP にて告知)。

申込専用  
フォーム



## 数字で見る伊賀市の福祉

令和2年7月31日現在(前月比)

伊賀市の人口	90,215人(-98人)	※集計処理の関係で前々月末日時点の数値です。
65歳以上の高齢者	29,689人(+23人)	※伊賀市の人口は外国人住民を含めた数です。
高齢化率	32.9%(±0.1%)	※65歳以上の高齢者及び高齢化率には、外国人住民も含まれています。
75歳以上の高齢者	15,773人(+1人)	※75歳以上の高齢者及び後期高齢化率には、外国人住民も含まれています。
後期高齢化率	17.5%(±0.0%)	※75歳以上の高齢者の全人口に占める割合を後期高齢化率と表記しています。
介護保険認定者数	6,164人(+9人)	※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。

## あなたのまちの ふれあいいきいきサロン No.161



### いきいきサロン連絡会(上野)

開催日時/7月22日、31日  
 開催場所/伊賀市総合福祉会館、  
 古山地区市民センター、  
 神戸地区市民センター  
 参加団体数/67団体

上野地域センターでは、サロンの情報交換やスタッフの交流のため、いきいきサロン連絡会を開催しています。

今年度は、「コロナ禍で、どのようにつながれば良いのか」をテーマに、地区市民センターの協力を得て複数会場で、オンライン会議アプリ Zoom を活用して開催しました。

電話や手紙、届け物、オンラインといった「集まなくてもつながる方法」の紹介と実践事例の紹介、サロン活動の休止期間中の様子などの情報交換を行い、サロンで使用してもらうためのアルコール消毒液を配布しました。自宅からのオンライン参加者も含め、67団体が参加しました。

参加者アンケートでは、「ほとんどの事業が中止になる中、つながりを大切にするサロンとしてどうするか、スタッフや参加者の声に耳を傾け、悩みながら行っている」「感染拡大しないようにリスク対策を考えたい」「オンラインを利用して世代間交流等が出来ないか検討中」など、このような現状でのサロンのあり方を模索する記述が多くありました。新しい生活様式にそった初めての手法で、活発な意見交換ができました。

### ●活動を始めたきっかけ

私たちは、長年地域の皆さまに支えられ、伊賀地域を中心にガス事業をおこなっています。地域貢献室では「地域の活性化のために少しでも役に立ちたい」という思いから、若手社員が中心となって、地域に根差したイベントなどに参加し、活動をおこなっています。

### ●活動内容

主に地元のイベントに参加しています。忍者フェスタでは、ましかど忍者道場のスタッフとして参加したり、上野天神祭ではだんじりを曳いたりなど、地元の方とのふれあいを大切にしています。今年はコロナの影響でイベントの中止が多く、地域貢献室の若手社員が「コロナ禍でもできることはないか」と、各部署で食糧寄付と募金を呼びかけ、コロナの影響で“食”に困っている方への支援として、社協の『新型コロナウイルス対策緊急支援活動』に食糧寄付をしました。

### ●今後の抱負

今はコロナの影響で、なかなか活動ができていませんが、コロナ禍が過ぎたら今後も積極的に地域に関わっていききたいです。

また、災害ボランティアの社内登録制度等も検討したいと思っています。



なかみち たかゆき  
**中道 教之さん**  
 上野ガス株式会社  
 地域貢献室 室長  
 室員数 12名



◀社協への食糧寄付の様子

我らふくしレインジャー



No.170

8月に開催した「外国人住民向け食糧支援事業」では、おかげさまで10団体91名の方から食糧のご寄付をいただきました。フードパントリーですることもできました。喜びの声を把握し、支援をお届けする必要性を感じました。

## 編集後記

## 編集・発行 伊賀市社会福祉協議会

本部	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002
上野	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123
いがまち	〒519-1413 愛田 513 番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」 ☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050
島ヶ原	〒519-1711 島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」 ☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145
阿山	〒518-1313 馬場 1128 番地の1 阿山保健福祉センター ☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577
大山田	〒518-1422 平田 656 番地の1 大山田福祉センター ☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165
青山	〒518-0226 阿保 1988 の1番地 青山福祉センター ☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555

